

高校生向け モデル授業（シラバス）

1. 授業の概要

「公平な税制とは何か？」ということ を ワークを取り入れながら、考察させる。

2. 到達目標

○税制度の基本を理解させる。

○公平で適切な税負担の在り方について、考察させる。

○納税者として、税の使途について関心を持つことの大切さを理解させる。

3. 構想

段階	学習範囲	学習内容
導入	税金とは何か	○はじめに問いかけを行い、直接税と間接税について、生徒たちから自由な意見を発言させる。 ○税金の種類をはじめ、今の日本における税の役割等を簡単に説明する。
展開	公平な税負担の在り方について	○ワークを利用しながら、グループ討論を行う。 ○他者の意見を聞きいれながら、公平な税負担について考察させる。
まとめ	将来の社会のために	○日本の財政状態（歳入・歳出、公債残高等）の説明。 ○国民が、豊かで安心した生活をおくるために必要な税金は、どのように負担するのが公平なのか。 ○納税者として、税金の使途について関心をもつことの大切さを訴える。

4. 展開（タイムスケジュール）

項 目	内 容	時間
<p><挨拶・自己紹介></p> <p>・税理士って何ですか？</p>	<p>・自己紹介、税理士の職業紹介</p>	5分
<p><公平な税制って、なに？></p> <p>はじめに</p> <p>1. あなたは、どちらに住む？</p>	<p>・授業の内容の説明 公平な税制について考えてもらう</p> <p>・例示をもとに、どちらの国に住みたいのかを生徒たちに問いかけ、自由に発言させる。</p>	30分
<p>2. 税金は約 50 種類あります！</p>	<p>・税金の種類や特徴（直接税、間接税）を簡単に説明する。</p>	
<p>3. 今の日本</p>	<p>・公共サービスを提供するためには、税金が必要であり、その税金についてのルールは、選挙によって選ばれた国会議員によって決められていることの説明。 (憲法第 84 条 租税法律主義)</p>	
<p>4. 考えよう！</p>	<p>・公平な税負担について考察させるため、ワーク 1,2,3 を利用しながら、グループで討論させる。</p> <p>・グループでまとめた意見を発表させる。</p> <p>・他者の意見を聞いた上で、各自の意見を再考させる。</p> <p>・公平な税負担であるための、問題点についても議論させる。</p>	
<p>5. 日本の現状</p>	<p>・日本の財政状態、公債残高についてグラフを利用して、簡単に説明する。</p>	
<p><まとめ></p> <p>・将来の社会のために</p>	<p>・グループワークを通して議論した内容の確認。</p> <p>・公平な税負担について、考えることの大切さ。</p>	15分
<p>・講師のまとめ</p>	<p>・国民が豊かで安心した生活をおくるために必要な税金は、公平な税制度であるべきであり、その用途について関心を持つことも大切である。</p> <p>・最後に、「ワークシートまとめ」への記入。 (宿題としても可)</p>	